



絹と木綿

豆腐ではなく、服のはなしです。

SILK
&
COTTON

特別企画展



2019年10月17日(木) ▶ 11月22日(金)

入館無料 開館時間|9:30~17:00 休館日|日曜(10/27を除く)、10/22(火・祝)、10/28(月)、11/4(月)

●企画展関連イベント● 全て参加費無料/①のみ事前申込制 ※詳しくは当館ホームページをご覧ください

①講演会「絹と木綿-つむぎ出す人と衣服の物語-」 ②ワークショップ「裂織のコースター作り」 ③ギャラリートーク



東京家政大学博物館
東京家政大学内・百周年記念館5階展示室

〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1 Tel.03-3961-2918
<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/museum/>
JR 埼京線「十条駅」徒歩 5 分、都営三田線「新板橋駅」徒歩 12 分



絹と木綿

2019年10月17日(木)▶11月22日(金)

[開館時間] 9:30~17:00 (入館は閉館の30分前まで)
 [休館日] 日曜(10/27を除く), 10/22(火・祝), 10/28(月), 11/4(月)
 [入館料] 無料

衣服は布から、布は糸から、糸は繊維から作られる…。

衣服の素材として、日本人になじみ深い絹と木綿。絹の歴史は古く、3世紀までには日本に養蚕技術が伝わっていたとされます。おもに上流階級の衣服に用いられ、華やかな衣文化を築きました。一方、木綿は14~15世紀頃に栽培がはじまり、江戸時代中期から後期にかけて庶民の衣料として定着しました。

本展では、絹と木綿の着物やドレス、仕事着等を展示し、自然由来の素材が衣服になる過程に目を向けます。絹と木綿を対比することで、それぞれの素材の特性を活かす技術や工夫、用途がより明確になることでしょう。

また、世界遺産の富岡製糸場に代表されるように、繊維産業は明治時代以降の日本の近代化を支えました。「着る」はもとより、「育てる」「作る」「売る」という行為をとおして人々の生活に深く結びついた絹と木綿。製品としての絹と木綿の歴史に触れながら、衣服と社会の関係を見つめ直します。



① 五衣 [絹] 大正4年 ② 着物 縦縞模様御召 [絹] 大正時代 ③ 生絹着物「藤波揺影」[絹] 土屋順紀作 平成20年 ④ 浴衣 垣根に菊模様 [木綿] 清水幸太郎作 昭和時代 ⑤ デイ・ドレス [木綿] 1900年代 東京家政大学蔵 ⑥ アイヌ民族衣装 アットウシ [オヒョウ、木綿] 昭和時代

表面 右上から時計回り：○ブラウス [絹] イギリス 1900-1905年頃 東京家政大学蔵 ○打掛 綸子地立涌 菊牡丹模様 [絹] 江戸時代後期 ○仕事着 [麻、木綿] 明治~大正時代 ○浴衣 木綿地千鳥模様 [木綿] 平成20年(江戸時代後期の複製) ○仕事着 タツツケ [木綿] 昭和時代 ○ワンピース 平絹地桃太郎模様 [絹] 昭和時代前期

所蔵先表記のないものはすべて東京家政大学博物館蔵

イベント情報

企画展関連イベント【すべて参加費無料】

講演会「絹と木綿—つむぎ出す人と衣服の物語—」

[講師] 田村 均 氏(埼玉大学教授)
 泉二 弘明 氏(株式会社銀座もとじ代表取締役社長)
 [日時] 11/9(土) 13:30~16:20(開場13:00)
 [会場] 120周年記念館2階 20講義室
 [参加方法] 事前申込制 10/17(木) 9:30~
 当館HPまたは企画展受付にて受付
 [定員] 200名 *定員に達した時点で受付終了

ワークショップ「裂織のコースター作り」

布をひも状に裂いた「裂糸」を使い、手織りでコースターを作ります。
 [日時] 10/30(水)、11/16(土) 13:00~15:00
 [参加方法] 13:00に企画展受付へお越しください。
 [定員] 各日15名(希望者多数の場合は抽選)

ギャラリートーク

当館学芸員による展示室での展示品解説
 [日時] 10/24(木)、11/2(土) 15:00~(45分程度)
 [参加方法] 15:00に企画展受付へお越しください。

博物館講座【参加費無料】

「アート・プロジェクトとまちづくり」

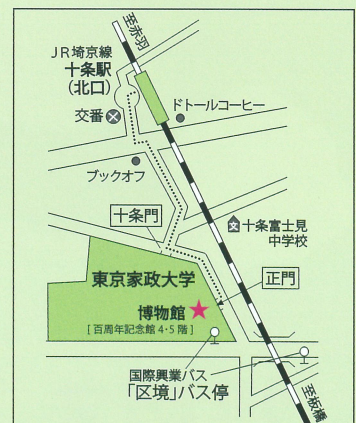
当館館長による全2回の講座
 [講師] 手嶋尚人(当館館長・本学造形表現学科教授)
 [日時] ①11/30(土) ②12/7(土)
 全2回 *1回のみ参加も可
 各回とも13:00~14:30(開場12:30)
 [会場] 中会議室(百周年記念館4階)
 [参加方法] 事前申込制 10/17(木) 9:30~
 当館HPまたは企画展受付にて受付
 [定員] 50名 *定員に達した時点で受付終了

常設展のご案内【入館無料】

常設展① 学園の歴史
 ・学園の歴史と創設者
 ・渡辺学園裁縫雛形コレクション
 ・渡辺学園の歩み
 常設展② コレクション展示
 台湾先住民族の衣装



アミ族 男女の盛装



*ご来館の際は守衛室で「博物館入館証」をお受け取りください。

電車 JR埼京線十条駅(北口)より十条門まで徒歩5分
 十条門より博物館まで徒歩3分
バス JR王子駅より国際興業バス「板橋駅」行きにて8分
 バス停「区境」下車徒歩1分

